

## (仮称) 平和資料館のあり方を考える懇話会について

### 1 概要

戦後71年が経過し、戦争の記憶の風化が懸念されており、本市に関係する戦争の記憶を後世に伝えることが大きな課題となっている。

そのため、市民に戦争の悲惨さを伝え、平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとするため、新たに(仮称)平和資料館を設置する。

そこで、施設のあり方や展示内容等、平和資料館の基本的な方向性について、有識者や戦争を体験された方、他の公立の平和資料館の関係者等から意見をいただく「(仮称)平和資料館のあり方を考える懇話会」を本年1月から開催している。

これまで、懇話会を4回開催しており、内容は次のとおりである。なお、第1回・2回の議論については総務財政委員会(3月13日)で報告済みである。

(1) 第1回の懇話会(1月18日)では、

- ・他館のコンセプト事例及びコンセプトに即した機能事例、北九州市の戦前の歴史
- ・(仮称)平和資料館のコンセプト・建設場所(案)

について、事務局からの説明を行った。

(2) 第2回の懇話会(2月15日)では、(仮称)平和資料館のコンセプト・建設場所等について活発な意見交換を行った。

(3) 第3回の懇話会(3月24日)では、建設場所の候補である勝山公園を視察するとともに、(仮称)平和資料館のコンセプト・建設場所等について活発な意見交換を行った。

(4) 第4回の懇話会(4月18日)では、市民団体等へのヒアリングを行うとともに、これまでの委員の意見をまとめた「(仮称)平和資料館のあり方(案)」を基に、活発な意見交換を行った。また、建設場所については「勝山公園の中央図書館横の駐車場付近」が相応しいと意見をまとめた。

今後も懇話会を開催し、委員からの意見のまとめを5月に行う予定である。

2 開催期間 平成29年1月～平成29年5月(5回予定)

### 3 今後の取り組み

議会からのご提案などを踏まえつつ、懇話会での議論を深め、展示コンセプトや建設場所等をまとめた(仮称)平和資料館の基本計画をまとめる。

#### 《資料》

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| ・懇話会委員名簿                   | 別紙1のとおり |
| ・懇話会の進め方(意見聴取事項)           | 別紙2のとおり |
| ・(仮称)平和資料館のコンセプト・建設場所(案)   | 別紙3のとおり |
| ・第4回懇話会 (仮称)平和資料館配置イメージ検討案 | 別紙4のとおり |
| ・第3回懇話会 委員の主な意見            | 別紙5のとおり |
| ・第4回懇話会 市民団体等へのヒアリングでの主な意見 | 別紙6のとおり |
| ・第4回懇話会 (仮称)平和資料館のあり方(案)   | 別紙7のとおり |
| ・第4回懇話会 委員の主な意見            | 別紙8のとおり |

## (仮称) 平和資料館のあり方を考える懇話会委員名簿

氏 名	所・属 等
天川 悦子	北九州童謡・唱歌かたりべの会会長
上田 眞奈美	北九州市PTA協議会副会長
甲木 正子	西日本新聞社本社企画開発部長
後藤 みな子	北九州市文学協会理事長
佐方 はるみ	元市立小学校長(九州女子大学人間科学部特任教授)
戸高 一成	呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)館長
中村 明俊	長崎原爆資料館館長
原田 純子	南九州市知覧特攻平和会館主査
南 博	北九州市立大学地域戦略研究所教授
三好 正一	北九州市遺族会連合会会長
山本 みさと	北九州市立大学学生 (太鼓と平和を考える学生連絡協議会代表)

(敬称略・50音順)

## (仮称)平和資料館のあり方を考える懇話会の進め方

1月 18日  
(水)

## 第1回 懇話会

(議題)

- ・他館のコンセプト事例及び・コンセプトに即した機能事例
- ・北九州市の戦前の歴史
- ・(仮称)平和資料館のコンセプト・建設場所(案) についての説明

2月 15日  
(水)

## 第2回 懇話会

(議題)

- ・(仮称)平和資料館の展示コンセプト・内容等・建設場所についての意見聴取

3月 24日  
(金)

## 第3回 懇話会

(議題)

- ・(仮称)平和資料館の展示コンセプト・内容等・建設場所についての意見聴取

4月 18日  
(火)

## 第4回 懇話会

(議題)

- ・市民団体等へのヒアリング
- ・(仮称)平和資料館の展示コンセプト・内容等・建設場所についての意見聴取



5月 未定

## 第5回 懇話会

(議題)

- ・委員意見の最終まとめ

**（仮称）平和資料館のコンセプト・設置場所（案）**

本市では戦争の悲惨さや平和の大切さを市民に伝えるため、「原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」や「北九州市非核平和都市宣言」の実施、「戦時資料展示コーナー」における戦時下の暮らしを中心とした資料の展示等、様々な取り組みを進めてきた。

戦後71年が経過し、戦争の記憶の風化が懸念されており、本市に関係する戦争の記憶を後世に伝えることが大きな課題となっている。

そのため、戦争の悲惨さを伝え、平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとなるよう、新たに（仮称）平和資料館を建設するもの。

なお、下記のコンセプト等は懇話会の活発な議論のため、例示している。

**1（仮称）平和資料館のコンセプト**

- 北九州市における戦争の悲惨さを保存・継承する施設
- 平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとなる施設

**2（仮称）平和資料館の主な展示内容**

- （1）八幡大空襲を始めとする本市の空襲に関する資料
- （2）長崎の原爆に関する資料
- （3）戦後の復興に向けた市民生活に関する資料
- （4）米国国立公文書館から収集した資料

※現在のコーナーに加える主な資料

**3（仮称）平和資料館の建設候補地**

小倉北区：勝山公園の一角（関連事項・小倉造兵廠、長崎原爆の投下予定地）

他に市議会より八幡東区、門司区「めかり山荘跡地」の意見もでている。

(仮称) 平和資料館 配置イメージ検討案 (勝山公園内)

別紙4

